

# 新潟土木出張所の沿革

明治新政府成るや国土保安上統一せる治水策を樹立せんとし、当時治水築港等に於て最も優秀なる技術と有すると信ぜられた オランダから技師を傭聘する議を決し、明治五年フアンドールン、リンドウの二人が来朝し六年エッセル、エーケ、チッセンの三人が来朝した。

直轄工事の監錫は淀川調査のため明治六年大坂土佐堀川出張所を開設し、大藏省（後内務省）土木寮出張所を設置した。ついで明治八年利根川につぎ同じく出張所を下総國関宿に設けた。

信濃川に就ては同じく八年南蒲原郡三条町に出張所を設け、後ハ蒲原郡西鳥屋野島新田に移し、阿賀野川、庄川にも夫々派出所を置き、主として河身の改修、堤防の修築に力を致し、傍ら信濃川筋上流長野県下並に庄川筋崩壊山地に砂防工事を施工した。

明治十九年七月土木監督署官制々定せらるるに至り、第三区土木監督署の位置を前記西鳥屋野島新田に定めた。之が後新潟市白山浦一丁目と改称されたのである。

新潟市白山浦一丁目と改称されたのである。



全 全 全 全 全 全  
 運輸省第一港灣建設部長  
 家督中 部 主 手 係 所

因に白山浦一丁目を街の古老で  
 永い歴史の偲ぶるゝものがある。

昭和三十三年初秋

自明治四十四年四月  
 至大正十三年三月  
 自昭和二年十二月  
 自〃〃九年五月  
 自〃〃十三年七月  
 自〃〃十七年三月  
 自〃〃十八年十月  
 自〃〃二十年三月  
 自〃〃二十年三月

今猶監督署小路と呼んで居る人がある。

渡辺 六郎  
 新開 壽之助  
 青山 士  
 伊藤 百世  
 蒲 孚  
 山田 三郎  
 有光 三平人

高橋 嘉一郎